

特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成25年7～9月）のポイント

※特定本邦事業者

- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイエア、ジャルエクスプレス）
- 全日本空輸：ANA（全日本空輸、ANAウイングス）
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- AIRDO：ADO
- スカイネットアジア航空：SNA
- スターフライヤー：SFJ
- Peach Aviation：APJ
- ジェットスター・ジャパン：JJP
- I77アジア・ジャパン：WAJ※

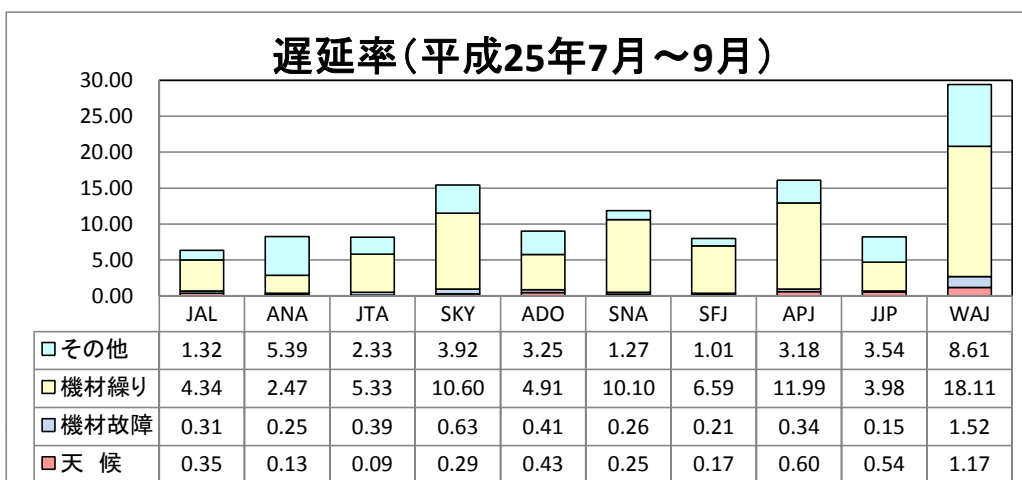
※エアアジア・ジャパンは11月1日でバニラ・エアに商号変更

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率（平成25年7月～9月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
8.70%	7.32%	1.38%増加

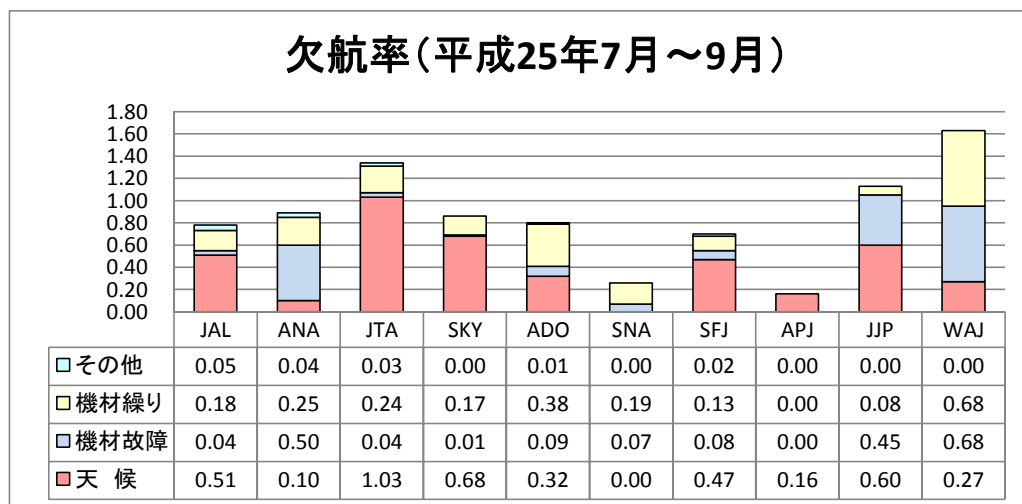
※備考「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

(2) 欠航率（平成25年7月～9月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0.82%	1.82%	1.00%減少



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績（平成25年7月～9月）

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	920km	929km	0.97%減
輸送人員	2488万8785人	2254万6367人	10.40%増
輸送人キロ	229億398万人キロ	209億5192万人キロ	9.30%増
旅客収入	3925億59百万円	3768億86百万円	4.16%増
輸送人員あたり 旅客収入	15.8千円	16.7千円	5.39%減
輸送人キロあたり 旅客収入	17.1円	18.0円	5.00%減

(2) 路線別データ（平成25年7月～9月）

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	256万7351人
2位	東京＝福岡	197万2383人
3位	東京＝那覇	148万2081人
4位	東京＝大阪	131万7718人
5位	東京＝鹿児島	62万2906人
	全路線	2426万0661人

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	小松＝札幌	93.7%
2位	関西＝仙台	90.9%
3位	東京＝宮古	86.6%
4位	札幌＝神戸	86.2%
5位	岡山＝札幌	86.2%
	全路線	66.4%

下位5路線は次のとおり。

1位	成田＝広島	25.8%
2位	宮古＝石垣	26.4%
3位	東京＝大島	34.7%
4位	東京＝三宅島	38.7%
5位	成田＝新潟	40.0%
	全路線	66.4%

3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成25年7～9月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールズ（搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	スターフライヤー	3.41人	2.19人
②	琉球エアコミューター	3.23人	0.33人
③	全日本空輸	2.91人	1.97人
	全社平均	2.38人	1.64人